見性寺様
御蔵新築工事　地鎮式

令和八年十月二十七日、静岡県磐田市見付の見性寺様（松山住職・臨済宗妙心寺派）にて、御蔵新築工事の地鎮式が執り行われました。

朝方まで降り続いていた雨も式が始まる頃には止み、読経の最中には雲の合間から晴れ間がのぞくなど、印象深い地鎮式となりました。



新たに建設される御蔵が、寺院の大切なものを守り、末永くその役割を果たしていけるよう、工事の安全と無事の完成を願い、今後の施工に取り組んでまいります。

善水寺様
本堂新築工事　地鎮式

令和八年十月二十八日、静岡県浜松市伊佐地町の善水寺様（臨済宗妙心寺派・平林住職）にて、本堂新築工事の地鎮式が執り行われました。

工事の安全と無事の完成を祈願し、本堂建立に向けた工事が始まります。施工では、寺院の歴史と伝統を尊重し、宮大工として培ってきた技術と経験を生かしながら、細部にまで心を配り、丁寧に工事を進めてまいります。新たな本堂が



檀信徒の皆様に末永く親しまれ、次世代へと受け継がれる建物となるよう、一つひとつの工程に真摯に取り組んでまいります。

興嶽寺様　須弥壇完成

静岡県菊川市の興嶽寺様にて、伝統工芸部「いしずえ」が製作を手がけた須弥壇が完成しました。弊社で保管していた欅材を製材・加工から組立まで一貫して行い、ご本尊をお祀りする場にふさわしく、伝統技術で細部まで丁寧に仕上げました。欅の美しい木目と職人の技が調和した須弥壇が、新たな本堂に荘厳な趣を添えています。



子どもたちに伝える
宮大工の魅力

静岡県知事より「技能マイスター」に認定されている弊社会長澤元が、宮大工の仕事や伝統技術や伝統文化の魅力を伝えるため、今年度も県内各地の学校で出前講座を行っています。講座では、写真や資料を交えながら宮大工の仕事を紹介し、後半には児童一人ひとりが、かんな削りに挑戦しました。初めて手にするかんなに戸惑いながらも、一生懸命に木を削り、自分で削ったかんなくずを嬉しそうに握りしめる子どもたち。その笑顔がとても印象的でした。

この体験が、宮大工という仕事に興味を持つきっかけとなり、日本の伝統技術や文化を未来へつなぐ小さな一歩になればと心から願っています。これからも子どもたちとの出会いを大切にしながら、宮大工の魅力を、伝えてまいります。



